

教育目標

- ◎ よく考え、行動する子ども
- お互いを大切にし、ともに生きる子ども
- 心も体もたくましい子ども

<基本方針>

学校は子どもが主役となって自己実現を目指す場所であることから、以下を基本方針とする。

基本方針1 子どもたちが桜梅桃李に自分を表現できる学校であること。

基本方針2 教師は最大の教育環境との意識をもって、教師も成長する学校であること。

基本方針3 保護者、地域から信頼される学校であること。

<目指す学校像>

1、STUDY 児童一人ひとりが夢や目標をもって、意欲的に学習に取り組む学校

○一人ひとりの良さを引き出すための児童理解。

- ・学習面、生活面を通して児童の実態を理解し、実態に応じたアプローチを大切にする。

○自分の意見を発信し、友達の意見を聞き、考える授業場面の設定。

- ・一人一台の端末を利用した学習により、自分の考え、表現を大切にする環境づくり
- ・児童の意見を認め励まし、意欲を高める声かけ。

○基礎基本の学習の定着

- ・小テスト、漢字ドリル等によるスモールステップを心掛けた指導。
- ・キュビナの活用による基礎基本の徹底
- ・年間を通じて学級・学年で読書に取り組み、主体的に学ぶ意欲を促す。
※読書記録カード、読書の木の年間取り組み等

○縦横のつながりを意識した教育活動

- ・たて割り班活動、クラブ活動、委員会活動の異学年交流の中で、互いを思いやり、役割を果たし合う心を育てる。
- ・学級・学年の横のつながりを意識し、互いに認め合い、励ましあう学級・学年づくりを行う。

○心をはぐくむ教育活動

- ・いじめをゆるさない集団づくりに向け、いじめに関する授業を学期に1回以上行う。
- ・週一回以上の道徳授業を通して、日常的に児童の道徳性をはぐくみ育てる。

2、SCRUM 教師は最大の教育環境との自覚をもって、全職員が団結して取り組む学校

○同じ言葉・同じ対応で学校全体として統一した生活指導。

- ・教師が手本を示す挨拶運動の展開
- ・成瀬台小の一日の徹底
- ・生活指導の重点目標としての「挨拶」への学校・学年・学級での取り組み

- 学年会を中心に、学年で統一した指導・対応
 - ・学習の進め方、指導の仕方を学年会で検討し、学年で統一した学習指導をおこなう。
 - ・互いの指導力を高める学年 OJT としての教材研究日
 - ・校内研究を通して、国語授業の基本を学ぶ。
- 一人ひとりの得意な分野でお互いを高めあう学校・学年
 - ・小教研等、自己研鑽の場を利用して研鑽し、児童に還元。
 - ・互いを認め助け合う教師集団

3、SAFETY **児童一人ひとりが安心して通え、安全に生活できる学校**

- いじめ未然防止・早期発見・早期解決
 - ・こころのアンケートを実施し、いじめ対応チームで対応を検討する。
 - ・SNS 成瀬台小ルールの改定と児童・保護者への周知
- 安心して学校に相談できる体制づくり。
 - ・事故や様々な問題はその日のうちに解明、解決を目指す。
 - ・児童・保護者・教師が一緒に考え、一緒に乗り越える
- ICT 機器を利用した家庭への情報発信。
 - ・HP 学校日記の更新、資料の掲載、紙ベースで発信したおたより等の掲載
 - ・クロームブックを利用した学級や学年の取り組みの様子を発信する工夫
 - ・テトルを利用し、お便り等の電子化

4、SOCIETY **保護者、地域社会と協力し、地域の教育力を生かした地域に開かれた学校**

- ゲストティーチャーを招いての授業
 - ・地域の方と協力し、児童の育成のめあてを意識した授業づくり
 - ・来ていただいた方に感謝の気持ちをもち、郷土愛をもった児童の育成
- 地域と連携した子供たちの活躍の場
 - ・地域団体と連携した活動を児童に紹介し（参加協力は任意）地域で活躍できる場を広げる。
- 子供たちの感受性を育て、子供たちの活躍を保護者、地域に発信する行事
 - ・音楽発表会の新設
 - ・学年ごとの音楽発表をとおして、調和を感じ、一つのものを仲間と作る楽しさを味わわせる。
- 学校・地域・保護者と共に作る50周年記念事業
 - ・11月1日（金）記念式典
 - ・各行事の50周年記念としての取り組み（体育発表会・記念集会・音楽発表会の新設）